



# 成丘だより

成増（なります）学びのエリア  
（赤二中・成増小・成増ヶ丘小）



成丘小HP  
二次元バーコード

板橋区立成増ヶ丘小学校  
学校だより 11月号  
令和7年10月31日  
校長 高野 剛一

## 自走する子の育成を目指して ～ 非認知能力を高める～

校長 高野 剛一

本校では、「多様な集団の中で、自走できる子を育てる」ことを最上位目標にして教育活動を進めています。「自走」とは、「目的の達成のために、自らの判断で主体的に活動、改善しながら行動すること」として、本校では共通理解しています。つまり、子供たちがこれから生き抜いていく社会の中で、誰かに言われて行動するのではなく、自分でより良い判断をし、自分とともに他者を尊重しながら行動できる子を育てていこうという目標です。

私は、この目標を達成していくためには、子供たちの非認知能力を高めることが必要であると考えています。**非認知能力とは、学力テストなど数値で測れる「認知能力」ではなく、数値化することが難しい、意欲、協調性、忍耐力、自制心、自己肯定感といった、人格や性格、社会性に関わる心の力**であると言えます。文部科学省では、非認知能力について、以下のようにまとめています。

非認知能力とは、主に意欲・意志・情動・社会性に関わる3つの要素（①自分の目標を目指して粘り強く取り組む、②そのためにやり方を調整し工夫する、③友達と同じ目標に向けて協力し合う。）からなる。特に幼児期（満4歳から5歳）に顕著な発達が見られ、学童期・思春期の発達を経て、大人に近づく。

（中央教育審議会 初等中等教育分科会「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」資料より）

最近の成増ヶ丘小学校における非認知能力を育成するための取組を紹介します。

### ☆ 自己決定学習の推進

子供たちが、「何について、誰と、どうやって、どのように」などを自分で決めて学習を進める授業にチャレンジしています。このような授業では、子供たちは、課題解決に向けて自分で調整しながら学習を進めることができます。そして、教師は、「教える人」ではなく「伴走者」として、子供たちが学習のゴールに向かって進んでいくことができるように支援をしています。

### ☆ 丘っ子活動（たてわり班活動）

1年生から6年生まで15人程度の丘っ子グループをつくり、6年生がリーダーとなって一緒に遊ぶなどの活動を行っています。10月24日（金）に実施した「丘っ子集会」というロング集会では、丘っ子グループで様々な課題にチャレンジしながらスタンプラリーをする活動を行いました。お昼は、グループで一緒に仲良くお弁当を食べました。異年齢集団の中で、協力し合うことの大切さを学ぶとともに、リーダーとして活躍した6年生の自己肯定感が高まりました。そして、下学年の子供たちは、自分も6年生になったらあなりたいという思いをもつことができました。

### ☆ 運動会に向けての取組

今年度は、運動会でも自走できる子を育てる取組を多くの学年で取り入れています。ダンスなどの演技種目では、クラスやグループで振り付けや動きを考え、試行錯誤しながら練習を進めています。競い合う団体種目では、騎馬戦やリレーで勝つために作戦を自分たちで考えているところです。これまでは、教師が指示した動きに対して、本気で練習に取り組むことが多かったですが、今年度は、自分たちで考え創り出したことを完成させるために練習しているので、これまで以上に本気で練習に取り組む姿が見られています。当日に向けて、粘り強く、あきらめずに最後までがんばることができるよう、支援を続けていきます。

今後も、子供たちの非認知能力を高めていける活動を多く取り入れながら、多様な集団の中で自走できる子の育成に取り組んでまいります。